

[Judith Heepe 氏が看護部長に就任]



2016年3月18日、シャリテの役員会議で重要な人事決定が下されました。Judith Heepe 氏（写真）が新しい看護部長に任命されました。それはつまりクリニック（大学病院）の運営メンバーの一員になったということでもあります。2015年6月に、彼女は暫定的に看護部長の職務を引き継ぎました。ベルリン出身の彼女は、1991年にシャリテの看護学生となって以来シャリテとは深い関係があります。彼女は卒後、看護師そして師長としてキャリアを積み2006年に看護センター長に、その後看護部長代理に就任しました。Sandra Scheeres ベルリン州議員は、「Judith Heepe 氏は、職業横断的構造理解力を持ち、現在の看護における課題を克服する

ための、俯瞰的な物事の捉えかたができ、必要なすべての資質を満たしています。」と祝福した。

Einhaupl 教授は、Judith Heepe 氏のこれまでの業績に感謝し、シャリテ理事として、「今後も彼女と一緒に仕事ができることを嬉しく思います。彼女の豊富な経験と専門的見地は病院全体へ寄与するとともに、看護体制のより一層の発展が期待できます。」と今後の活躍に期待を寄せた。

[シャリテ・ベルリン医科大学千葉大オフィス 柏原誠氏 訳]

(写真: Charit も / Wiebke Peitz)